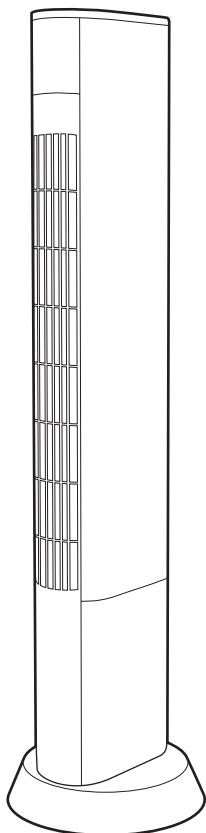


タワーファン リモコン式 FTS-902

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意P1 ~ P2
各部の名称とはたらきP3
正しい使いかたP4 ~ P6
お手入れと保存P7 ~ P8
修理・サービスを依頼する前にP9
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示についてP10
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙



仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz : 44W / 60Hz : 39W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 24 × 奥行き 24 × 高さ 91.5 cm
質 量	約 4.4 kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

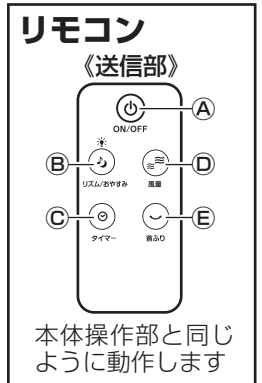
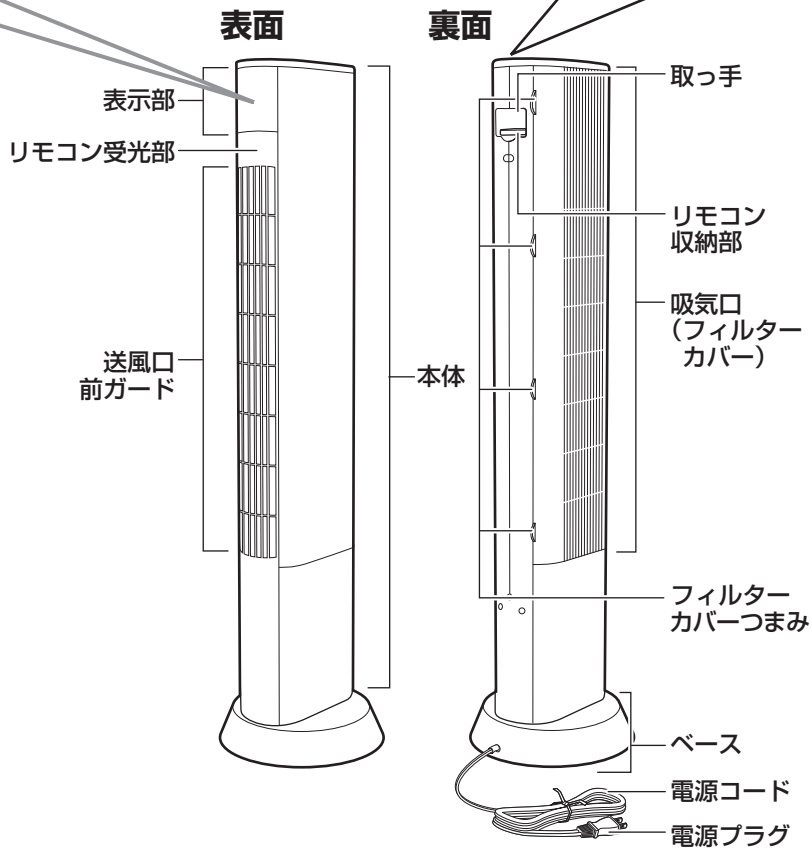
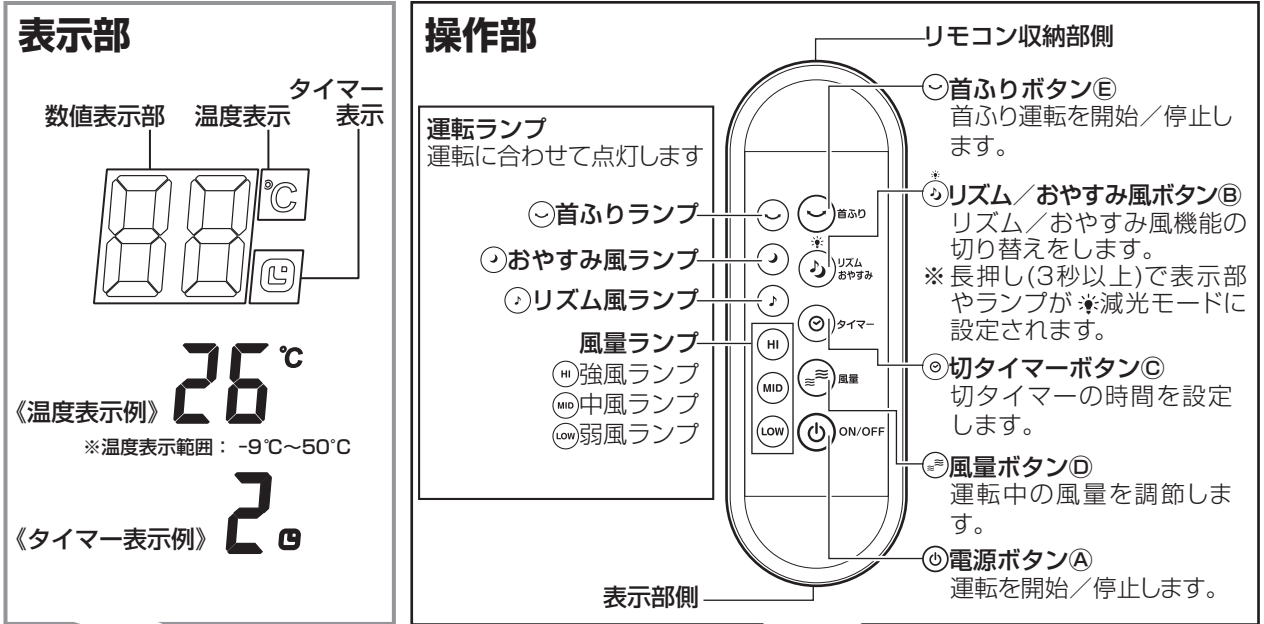
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後、フィルターカバーをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 使用禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		
	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		

⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	 禁止	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		ガードの中や本体内部に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		髪を送風口に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをすることがあります。		
 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき



正しい使いかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	フィルター（吸気口に装着済）.....	1 個
リモコン（リモコン格納部に取付済）.....	1 個	取扱説明書（保証書含）.....	1 個
コイン形リチウム電池（CR2032）.....	1 個		

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。



- フィルター・フィルターカバーを取り付けずに運転をしない。
- 本体を正しく設置した状態（安定したところに直立状態）以外で運転をしない。

使用前の準備

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

- 本体とベースのあいだに電源コードをはさまないように注意してください。



- 電源コードに本体をのせないように注意する。
- 本体を持ち上げるときは、取っ手を持つか、両手で本体の下のほうをしっかり持つようにする。

2. リモコンに電池を入れる

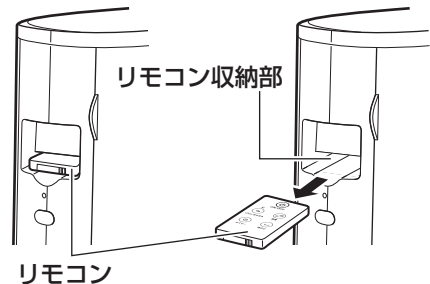
本体裏側のリモコン収納部にリモコンが収納されていますので取り出してください。

- ①電池ボックスをリモコン本体から引き出す
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。
- ②コイン形リチウム電池を、電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする
電池の⊕側を上にしてセットしてください。
- ③電池ボックスをリモコン本体に差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。

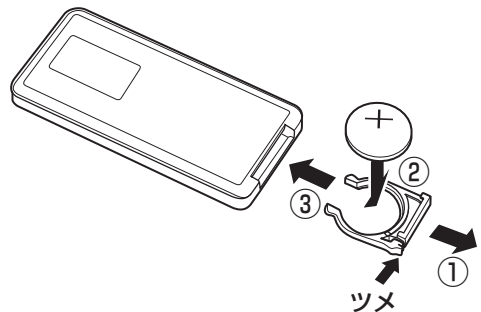


- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む ピッと音がします。



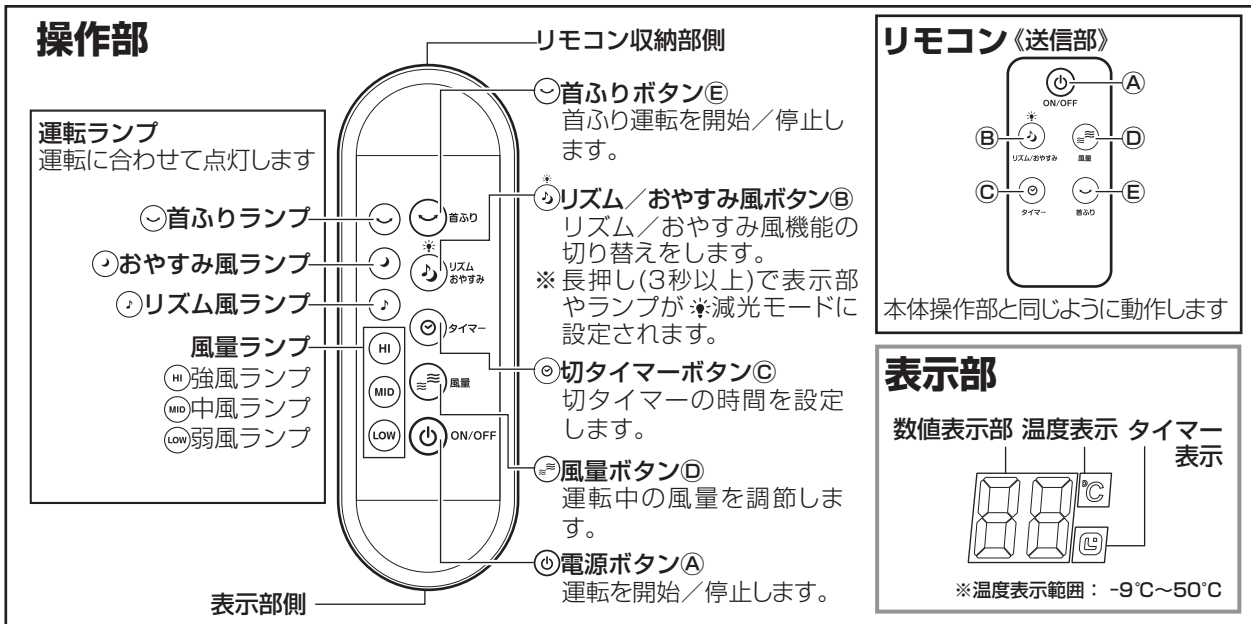
収納するときは表面を上にして、送信部からリモコン収納部に入れてください。最後まで押し込んでください。



使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 5 m
- 本体正面から左右に約 30 度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

正しい使いかた (つづき)



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンのⒶ電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンのⒶ電源ボタンを押したときには、弱風運転を開始します。

メモリー機能

本体またはリモコンのⒶ電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり）。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量: 弱風、首ふり: なし

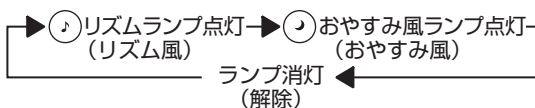
2. 風量を調節する

本体またはリモコンのⒺ風量ボタンを押して風量を調節してください。



3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンのⒷリズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



※設定されたリズム風ランプ、おやすみ風ランプが点灯します。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風（リズム風ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンのⒺ風量ボタンを切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風（おやすみ風ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンのⒺ風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(HI 強風時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(MID 中風時) 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(LOW 弱風時) 弱リズム風 と同じです。

運転中に本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、表示部・運転ランプが✳️減光モードに設定されます。

減光モード

表示部・運転ランプがまぶしいときに、本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、減光モードに設定することができます。

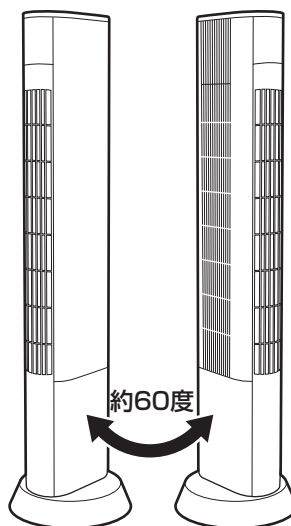
減光モードを解除する

- ④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)する
- 運転を停止する

4. 首振り運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンの⑤首振りボタンを押すと、首振り運転を開始します。もう一度押すと首振り運転を停止します。

- ベースより上の本体部分が動きます。



5. 切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの⑥切タイマーボタンを押すと、表示部に切タイマー時間が点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長4時間まで設定できます。

※切タイマーがセットされると、表示部は、温度と切タイマー時間を交互に表示します。

※切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの⑥切タイマーボタンを表示部が温度表示になるまで、何度か押します。

6. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの⑦電源ボタンを押すと、運転が停止します。

切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

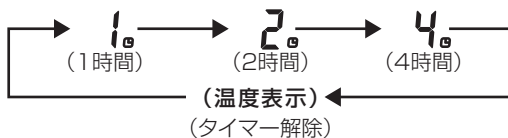
7. 電源プラグをコンセントから抜く



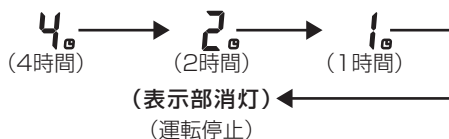
警告 使用後は電源プラグをコンセントから抜く。火災・故障の原因になります。

切タイマー表示について

タイマーランプは、本体またはリモコンの⑥タイマーボタンを押すごとに表示部が下のようになり切り替わります。



切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに表示部の表示が切り換わり、運転が停止するまでの時間を表示します。



※切タイマーがセットされると、表示部は、温度と切タイマー時間を交互に表示します。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

通常のお手入れ

送風口・吸気口のホコリを掃除機で吸い取ってください。

フィルターのお手入れ

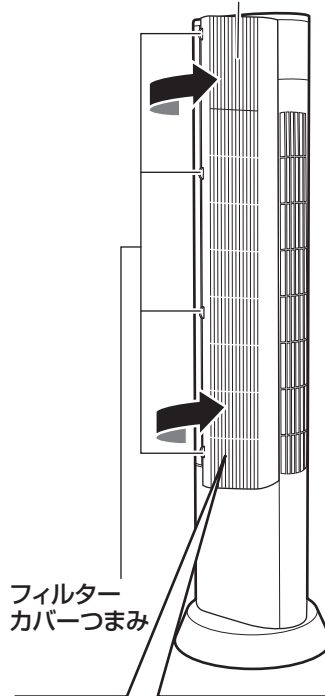
定期的に以下の手順に従って行ってください。

1. ①電源ボタンを押して運転を停止させ、電源プラグをコンセントから取りはずします。
2. 本体裏面の4か所のフィルターカバーつまみを引いてフィルターカバーを取りはずします。
3. フィルターカバーの裏に取り付けられている、フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でいねいに取り除いてください。
※汚れがひどいときには、フィルターを取りはずし、フィルターをていねいに水洗いしてください。そのとき、強くねじったり、こすったりしないでください。破損の原因になります。
4. フィルターカバーに、フィルターを取り付けます。フィルター固定用ツメ(8か所)に取り付けてください。
※フィルターを水洗いしたときは、十分に乾燥させてください。
5. フィルターカバーを本体に取り付けます。フィルターカバーつまみの反対側にあるツメを、本体の対応する穴に差し込んで、取り付けてください(→右図)。



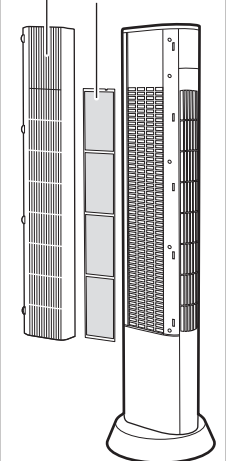
- お手入れのあとは必ずフィルターカバー、フィルターを正しく本体に取り付ける。
- フィルターを取り付けずに運転しない。

フィルターカバー



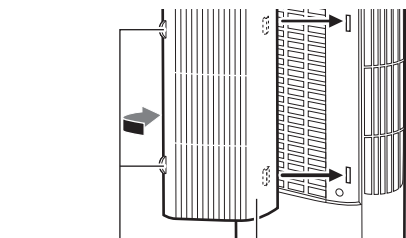
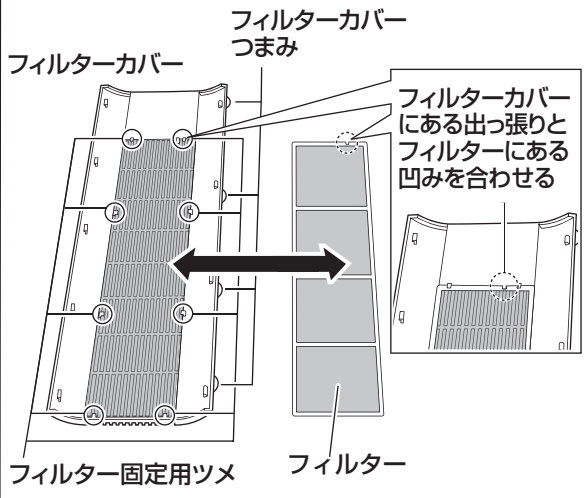
フィルターカバー

フィルター



※フィルターカバーにフィルターを取り付け、フィルターカバーを本体に取り付けます。

フィルターはお手入れのあと、フィルターカバー裏面にあるフィルター固定用ツメ(8か所)に取り付けてください。



フィルターカバーつまみ フィルターカバー

フィルターの交換

フィルターが破れたり、汚れがひどくなったり、紛失したときは、交換してください。

フィルターをお求めのときは、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」です。

[フィルター]

商品名 フィルター（1枚）

FT-PIR383 ￥500（税抜）

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- リモコンの電池ははずしておいてください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
風力が弱い	・吸気口や送風口にホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く
	・吸気口がふさがれている	・吸気口をふさがない ・吸気口をふさいでいるものを取り除く
突然運転が停止した	・切り忘れ防止機能がはたらいている (6 ページ)	本体またはリモコンの⑩電源ボタンを押して運転を開始させる
表示部・ランプが暗い	・減光モードが設定されている (6 ページ)	本体またはリモコンの⑨リズム／おやすみ風ボタンを長押し (3 秒以上) する、または運転を停止する
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・電池が逆に入っている	電池を正しく入れる (4 ページ)

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？


- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。